

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和5年度取組結果】

| | |
|-----|-------------------|
| 団体名 | 公益財団法人 北九州市学校給食協会 |
|-----|-------------------|

| | |
|-----|-------------|
| 所管課 | 教育委員会 学校保健課 |
|-----|-------------|

| 団体に対するミッション |
|--|
| <p>①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。</p> <p>②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p> |

| 行財政改革大綱における見直し内容 |
|--|
| <p>今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。</p> |

| ミッションに基づく中期計画 | | | | | | | | |
|-----------------------|---|-------|-------|-------|------|-------|------|----|
| 3~5年後に 目指す状態 | 食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。 また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。 | | | | | | | |
| 主な成果指標 | 年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度） | | | | | | | |
| | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | | R6 | R7 |
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 目標 |
| 重大事故による給食の提供中止 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | / |
| 地場産物の使用割合 (品目比ベース) | 42.1% | 42.5% | 35.7% | 37.2% | 前年程度 | 37.2% | 前年程度 | |
| 地場産物の使用割合 (重量比ベース) | 18.9% | 20.4% | 19.8% | 24.5% | 前年程度 | 24.9% | 前年程度 | |
| | | | | | | | | |

| ミッションの遂行状況の評価（令和5年度） | | | |
|----------------------|--|------|---|
| 団体における 評価 | 安心安全な給食食材が提供できるよう、物資納入業者選定委員会で毎年度、食材納入業者の審査を実施している。毎月、物資共同購入委員会を開催し原材料の確認や試食を行い、適格品を選定している。また、青果については学校納品前に市場で検品を行っている。学校でも全ての食材検品を行っており、不良品が発見された場合は、即座に取り替え等の対応を実施している。また、教育委員会と連携し、食材の細菌検査、化学検査も行っており、これら取組により大きな給食事故は起きていない。また、地産地消推進協議会を毎月実施し、地元JA、卸業者等と地場産の生育状況や栽培計画の情報交換を行い、計画的な使用に努めている。 | 市の評価 | 業者の審査、給食物資の選定、検品、検査等の取組を通じ、大きな事故もなく、年間を通じて安定的な給食食材の調達を行ったといえる。また、地場産物の使用割合（重量比ベース）についても、目標値を上回る成果となり、評価できる。 |
| | 今後の課題及び見直し内容（案） | | 団体への改善指導内容（案） |

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類 ー

食材の安全で安定的な調達についての見直しの取り組みは、団体に対するミッションを今後も確実に進めていくことが重要と認識し、最大限取り組んできている。また職員の能力向上のために担当替えを行い、幅広く業務を行えるようにし、かつ、前任、後任で協議しながら業務を進めていくことにより、業務の問題点を洗い出し、解決に向けての協議を自主的に行うようになった。

ミッションに基づく具体的取組み（令和5年度）

| 目的（目指す状態） | | 活動計画（どうやって目的を達成するか） | | | | | | | | |
|--------------------|--|---------------------|--------|--------|--|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | <p>食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。</p> | | | | <p>安全で安定的な学校給食用物資の調達のため、物資納入業者選定委員会や物資共同購入委員会等を通じて、選定業者や購入する物資を厳格に審査する。 また、納入された物資については、市と連携して検収及び食品検査を行い、学校に安全で安心な食材料を供給するとともに、軽微な事故においても原因分析を徹底し、的確な対策を実施することで、給食の提供中止につながる重大事故ゼロに努める。</p> | | | | | |
| | 成果指標 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度目標 | R5年度実績 | 活動指標 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度目標 | R5年度実績 |
| | 重大事故による給食の提供中止 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | ① 物資納入業者選定委員会 | 年2回 | 年2回 | 年2回 | 年2回 |
| | | | | | | ② 物資共同購入委員会 | 年12回 | 年12回 | 年12回 | 年12回 |
| ③ 食品検査 | | | | | | 208件 | 214件 | 223件 | 218件 | |
| 目的（目指す状態） | | 活動計画（どうやって目的を達成するか） | | | | | | | | |
| 2 | <p>学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、可能な限り地場産物の使用に努める。</p> | | | | <p>地産地消の推進を図るため、北九州市教育委員会、産業経済局（農業所管部局）及び市場関係者等からなる「学校給食用物資地産地消推進協議会」を開催し、物資の規格、産地、生育状況について協議を行い、使用状況を生産サイドにフィードバックしながら情報を共有し、可能な限り市内産農産物の使用に努める。</p> | | | | | |
| | 成果指標 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度目標 | R5年度実績 | 活動指標 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度目標 | R5年度実績 |
| | ① 地場産物の使用割合（品目ベース） | 35.7% | 37.2% | 前年程度 | 37.2% | 学校給食用物資地産地消推進協議会の開催 | 年11回 | 年11回 | 年11回 | 年11回 |
| ② 地場産物の使用割合（重量ベース） | 19.8% | 24.5% | 前年程度 | 24.9% | | | | | | |